

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	まちおこし推進事業	担当課	教育課
細分化した事業名	サッカーのまちプロジェクト事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	スポーツ活動の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市サッカーのまちづくり推進要項

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	サッカーを重要な文化資源として位置づけ、次世代を担う青少年の健全育成、幼児からお年寄りまで健康に暮らせる社会の構築、国内外の交流など、サッカーを核とした活気あふれるまちづくりとスポーツは教育の場であり、自立、協調性、目的意識などを備えた人づくりを目指します。
事業の手段	多様な分野より推進員（15名）を委嘱し、「サッカーによる人づくり、まちづくり、競技力向上」を視点に事業立案を行い、市に提言し関係団体と協働して事業を行う。 主な事業 ○少年サッカー教室 ○夢の応援団プロジェクト（就学前児童参加事業） ○韮崎なでしこプロジェクト事業（運動部活動地域連携再構築事業）
事業の対象	全市民

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	6,739	4,246	3,476
財源内訳	国・県支出金			516
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	6,739	4,246	2,960
B	担当職員数(職員E) (人)	0.1	0.1	0.13
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	682	425	844
D	総事業費(A+C) (千円)	7,421	4,671	4,320
主な事業費用の説明	少年サッカー教室の指導・運営委託料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 少年サッカー教室開催回数・参加人数	回 延べ参加人数	36 871	31 1,978	29 1,517
	2 就学前児童参加事業開催回数・参加人数	回 延べ参加人数		2 483	1 211
	3 女子サッカー振興事業教室開催回数・参加人数	回 延べ参加人数		1 36	23 206
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	少年サッカー教室は、技術力向上のみでなく、礼節や仲間との協調性といったひとつづくりにも繋がり、参加者数も増加しており、事業として定着している。			
	2	3歳未満の幼児を対象に父兄とともに、サッカー競技をイメージした各種ゲームを通じ、スポーツを楽しんだ。			
	3	平成25年度から始まった「韮崎なでしこプロジェクト」については、1回あたりの参加者数が少ない現状である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	少年サッカー教室1回あたり参加人数	延べ参加人数/回 24.1	63.8	52.3
	2	就学前児童参加事業1回あたり参加人数	延べ参加人数/回	241.5	211
	3	女子サッカー振興事業教室1回あたり参加人数	延べ参加人数/回	36	9
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	1回あたりの参加者数は平成24年度から大きく増加しており、教室でも礼節を重んじ、練習メニューも着実にこなしているが、技術力の向上を図る指標がない。			
	2	毎回、200名ほどの参加者があり、楽しく体を動かし、サッカーにも興味を持ってきている。			
	3	女子サッカー振興事業については、小学校4年生から高校生を対象としており、参加者のサッカーに取り組む姿勢や技術力に応じてトレーニングを行うため、参加者数に偏りがある。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 少年サッカー教室、就学前児童参加事業については、委託事業として継続していく。女子サッカー振興事業については、参加者の募集方法、活動実績の周知方法を検討し、参加者の増加に努める。強化指導者招聘事業については、専門性の高いゴールキーパーの指導者の派遣を継続して受ける。 本年度で当初の5年間の計画期間を終了するため、本年度中に実績の検証を行い、来年度以降の計画について検討を行う。
過去の改善経過	平成23年度に事業の見直しを行い、サッカーの指導、普及に重点を置く事業を展開。 平成25年度に推進委員会への補助金を見直し、削減。
課長所見	推進委員会はサッカーのまちづくりの事業立案や各種課題への意見提言等貴重な外部組織なので今後のあり方についても十分に検討したい。